

12月26日
打ちたてのそばを味わって
摩周そば生産組合が特養摩周そば打ちを実演



町内の農業者でつくる摩周そば生産組合(猪狩広昭組合長)の皆さんが12月26日、特別養護老人ホーム摩周で手打ちそばをふるまいました。会場では、そば打ちの実演が行われたほか、事前に打ったそば200人前が、隣接する養護老人ホーム倅和園の利用者たちにも、かしわそばとしてふるまわれました。利用者の皆さんからは「打ち立てのそばは、とてもおいしい」などの声がかかれ、笑顔でそばを楽しんでいました。猪狩組合長からは「喜んでもらえて何より。来年も続けたい」と話していました。

12月26日
年末も防犯・防災の心得を
歳末警戒街頭啓発を実施



町、町暴力追放運動推進協議会、弟子屈防犯協会の主催による令和元年度弟子屈町歳末警戒街頭啓発が12月26日、町内の大型店舗や金融機関、道の駅などで行われました。犯罪の起きやすい年末を迎え、地域の方に注意を呼び掛けるために行われたものです。当日は弟子屈警察署や各地区防犯協会など多くの関係機関からおおよそ30人が参加。いくつかのグループに分かれて町内を巡回し、啓発品の配布を行いました。

1月1日
餅まきや川湯ばやしなどで新年を祝う
道の駅でお正月イベント



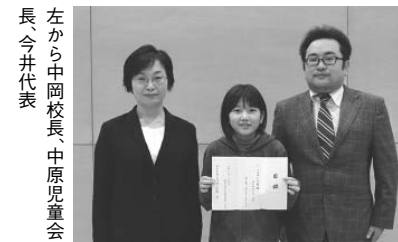
道の駅摩周温泉で1月1日、恒例の新春感謝祭が行われました。新春感謝祭は、道の駅のリニューアルオープン後から毎年行われているもので、今年で9回目。正面玄関前で川湯ばやしが披露されたほか、正面広場では、くじ入りの餅まき大会が行われ、多くの方でにぎわいました。館内では、直売会特製の福袋が販売されたほか、お汁粉が振る舞われ、来場者の皆さんは、お正月気分を満喫していました。

12月30日
第6回ディスカバー農山漁村の宝
渡辺体験牧場が全国選定



農林水産省が主催する第6回ディスカバー農山漁村の宝として、(有)渡辺体験牧場(渡辺隆幸代表取締役)が選定され12月30日、町役場で徳永町長に報告しました。この取り組みは、農林水産省が、地域活性化や所得向上を実現する優良事例を選定し、それらの取り組みを広く波及させ、農林水産業を振興することが目的です。同牧場は、全国931件の事例から選ばれた31件のひとつに選定されました。首相官邸で選定証を受けとった渡辺さんは「町民の皆さんに支えられてやってきた。皆さんに喜ばれるよう、さらに商品開発を進めたい」と話していました。

1月16日
ベルマークで社会貢献
(有)今井総合保険システムが川湯小に寄贈



(株)今井総合保険システム(今井慎也代表取締役社長)は、1月16日、川湯小学校(中岡美緒校長)にベルマークを寄贈しました。あいおいニッセイ同和損保が地域住民や企業と共にしている社会貢献としてのベルマーク収集に同社が賛同して行ったものです。この日は、同社の今井慎也さんが来校。社員の家庭や保険証書にベルマークがついていることで集められた5,416.6点を寄贈。同校からは、児童会長の中原実和さんが感謝の言葉を贈りました。贈呈されたベルマークは、ベルマーク協力会社から学校の備品などの購入に役立てられます。

1月9日
ほくとくんもやって来た
にこにこクラブ交通安全教室を開催



弟子屈警察署では、放課後児童クラブにこにこクラブ(弟子屈小学校内)の児童たちを対象に1月9日、交通安全教室を開催しました。1月10日の110番の日が近いことから行われたもので、クラブの児童たちはグループに分かれ、住んでいる近くの地図を使い、登下校のルートを確認しながら、こども110番の家を確認しました。また、交通安全標語である「いかのおすし」を確認するため、イラストに色を塗りながら、標語の確認をして、交通安全の意識を高めました。教室には、北海道警察のキャラクターほくとくんも現れ、大歓声があがっていました。

11月21日
地域の役に立ちたい
(株)協和建設が社会貢献



(株)協和建設(延藤政則代表取締役)の皆さんが11月21日、みはらし台団地のフェンスの撤去作業を行いました。このフェンスは除雪作業の支障になるため、冬期間は取り外され、撤去、設置とも同社が毎年社会貢献の一環として行っています。同社からは3人が参加し、手際よく作業が行われました。

カメラスケッチ
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。
まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

12月13日
パナソニック女子陸上部が来町
和琴小学校の児童とスポーツ交流



パナソニックの女子陸上部の選手やコーチら19人が12月13日、和琴小学校(斎藤超校長)で、児童たちと交流しました。同部は、全日本実業団女子駅伝で、平成29・30年に連覇するなど、日本屈指の強豪チームで、今年行われる東京オリンピック出場を狙う選手も所属。冬のトレーニングなどを行うため来町し、この日は同校の児童たちと交流しました。同部が行っている「エチオピア体操」という基礎トレーニングや、腰につけたひもを取りあう「しっぽ取りゲーム」を一緒にを行い、選手も児童も楽しそうに交流していました。

11月29日・12月20日
みんなが楽しく集まれる場所を作りたい
南弟子屈でコミュニティカフェをオープン



南弟子屈地域活性化協議会による、コミュニティカフェが11月29日と12月20日、旧昭栄小学校でオープンしました。地域の人が集まれる場所を作りたいと、月に1度の予定で開催。協議会の女性メンバーが中心となって地場産品を使ったセットメニューを提供しています。12月20日には、クリスマスメニューの骨付きチキンや炊き込みご飯のほか、オリジナルブレンドのコーヒーも提供されました。南弟子屈 ホオナニ ポオハクの皆さんによるフラダンスなども披露され、集まったお客さんからは「気軽に集まれる場があるのはうれしい。これからも続けてほしい」という声がかれました。

12月20日
悲惨な交通事故をなくそう
令和元年度 弟子屈町交通安全大会



町交通安全運動推進協議会(会長:徳永町長)と町交通安全協会(村岡幸雄会長)による令和元年度弟子屈町交通安全大会が12月20日、町公民館で行われました。交通事故被害者への黙とうの後、町交通安全運動推進協議会表彰と優良運転者表彰で合わせて9人の皆さんと、交通安全功労団体の表彰が行われました。続いて、弟子屈警察署の松田真尚地域・交通課長による「交通死亡事故抑止について」の講演などが行われました。来賓の弟子屈警察署 林隆俊署長は、あいさつで道・町内の死亡事故数に触れ、安心・安全な町を目指すと話していました。

12月19日
人命救助に貢献
祖父江 健一さんに感謝状を贈呈



人命救助に貢献したとして釧路北部消防事務組合 井憲昭消防長から屈斜路在住の祖父江健一さんに感謝状が贈られ、その贈呈式が12月19日、弟子屈消防庁舎で行われました。この感謝状は、昨年11月22日の屈斜路湖で発生した水難事故において、迅速的確な行動で人命救助に貢献されたことに対するもの。菅井消防長は「水温の低い中この迅速な対応がなければ、要救助者の生死に関わるものとなっていた」と感謝の意を述べていました。